

第2回 滑川町下水道事業審議会議事録

日時	2024年10月30日(水)10:00～
場所	滑川町役場 中会議室
参加者	滑川町役場 2名(宮島課長、西須) 、審議委員14名 日本会計コンサルティング 1名(南澤)
確認事項	
1. 審議会資料説明 1. 公営企業 経営の原則 ・公営企業会計では、独立採算制の原則と受益者負担の原則に基づき、適正な使用料をもらうことと過度に繰入金とくに基準外繰入金に依存しない経営をすること 2. 滑川町下水道事業 令和5年度決算及び決算に基づく現状分析 ・令和5年度決算では当年度純利益はプラスになったが、営業収益だけでは経費を賄えず、営業外収益とくに繰入金の恩恵による黒字を計上した ・今後は人口増加の影響で使用料収入は増加する ・使用料収入は増加するが、令和5年度決算では基準外繰入金が大幅に増加したため、今後の改善が必要 ・現在経営戦略を策定しているが、公共下水道事業は将来の社会資本整備総合交付金の支給要件にも関わるため、使用料改定が必要となる ・現行の滑川町下水道事業の20㎡あたりの一般家庭使用料は2,530円(税込み)であり、国の基準である3,000円に達していないため改善が必要である ・令和5年度決算を踏まえた将来の課題は ① 営業外収益による収益捻出(繰入金での補填が多い) ② 繰入金のうち基準外繰入金の割合が年々増加 ③ 使用料水準が総務省基準を満たしていない になる。 3. 経営戦略による将来の見通し ・使用料は増加するが、下水道整備や既存施設の改築・更新工事により減価償却費等の経費が増加し、当年度純利益は赤字(令和6年度は予算数値) ・公営企業会計移行後に発生する減価償却費が毎年度約2億円発生し、収支が赤字の大きな要因である ・毎年度赤字となっており、このままの経営状況が続くと非常に厳しい状態になる ・現状の打開として、使用料改定が必要となり、令和8年度から使用料改定案として ①25%改定 ②30%改定 ③35%改定 ④40%改定 を提案する 4. 経費削減策について 収入増加も必要であるが、経営の健全化に向けた今後の経費削減策について ①維持管理費及び改築・更新費の平準化 ストックマネジメント計画を活用の上で、経費の縮減に努める。 ②不明水の削減 ③広域化・共同化の検討 5. 使用料改定時 体系イメージ 使用料改定を実施した場合、1ヶ月・2ヶ月あたりの使用料以下のとおりである。 1か月 ①25%改定 575円増加 ②30%改定 690円増加 ③35%改定 805円増加 ④40%改定 920円増加 2か月 ①25%改定 1,150円増加 ②30%改定 1,380円増加 ③35%改定 1,610円増加 ④40%改定 1,840円増加	

第2回 滑川町下水道事業審議会議事録

日時	2024年10月30日(水)10:00～
場所	滑川町役場 中会議室
参加者	滑川町役場 2名(宮島課長、西須)、審議委員14名 日本会計コンサルティング 1名(南澤)
確認事項	
2 審議会資料について質問 矢部委員 出た利益はどのような処理をするか、一般企業と同じイメージか 滑川町 一般企業と同じく、剰余金として内部留保に蓄積される 矢部委員 県内ではかなり高い使用料の数値であるのに更に値上げをするのか 例えば川島町と比較して1,000円くらい高い 改定をすればどのくらいの位置にいけばいいのかも教えて欲しい 滑川町 経営状況が厳しいためである、とくに滑川町の公共下水道事業の処理を行う 市野川流域下水道は維持管理負担金が高いためこの設定であり、かつ令和8年度に改定が発生する 川島町は流域下水道の区域が違っても使用料に差異があると考えられる 吉野議長 使用料の安いところは地理的に人口密度の高く工事単価が低くなるからである 滑川町 お見込みの通りである 吉澤委員 土塩地区に住んでいるが、料金の差があるが不公平ではないか 滑川町 土塩地区と熊谷市の野原地区で農業集落排水として処理をしている 料金体系は水道に合わせた体系になってるため現状の設定になっている 不公平はあるが、熊谷市に合わせると滑川町の経営が成り立たないため現状に至っている 吉野議長 下水道事業の状況により料金体系は市町村で異なるケースがある。収支補填分を補填する繰入金は無 尽蔵に投下しているわけではないため、繰入金については他市との状況を検証し次回説明できるように してほしい 滑川町 次回提示する 稲葉委員 浄化槽の単価について下水道事業の単価と差がある(浄化槽の方が単価が高い) 大塚副議長 経費の内訳を教えて欲しい。例えば維持管理費等はいくらかが出ないのか 積み上げがいくらかかる 滑川町 今回は全体の費用はいくらかという説明を考えていたため詳細は今後説明する P19に記載をしているが、減価償却費等の増加で使用料収入等で賄えないため使用料改定が 必要と考える。質問にあった令和6年度予算では各経費を積み上げて作っている	

第2回 滑川町下水道事業審議会議事録

日時	2024年10月30日(水)10:00～
場所	滑川町役場
参加者	滑川町役場 2名、審議委員14名 日本会計コンサルティング 1名
確認事項	
2 審議会資料について質問 檀原委員 長期前受金戻入はどういう性質のものか 滑川町 建設改良費に係る財源を減価償却費と同様に一定の期間で平準化し償却処理をするもの 檀原委員 P19収益的収入の国庫補助金の営業外収益と長期前受金戻入はどういう関係か 滑川町 ストックマネジメント計画に係る補助金収入のため、維持管理費への充当のため収益的収入で計上する 檀原委員 不明水の流域下水道への流入量のカウントはどのようになっているか 不明水の案分は 滑川町 毎月有収水量の形で使用料金に繋がる水量を報告している 市野川水循環センターで処理している総処理水量との差が不明水となる。 不明水分は3町分のため、不明水の算出は有収水量の割合で決めている、以前は計算するメーターがあったが、今は無いため案分計算している 矢部委員 経費削減策はどれくらいの効果額を見込んでいるか またどれくらいの期間での実施を考えているか 滑川町 ストックマネジメント計画等は今後の経費削減策の予定として考えており、具体的な計画は出ていない 矢部委員 P13ではPDCAサイクルを回すと言っているが説明になっていない どこまで本気でやるのかを丁寧に説明をして欲しい 経費の積み上げとも整合がとれていないことと何を課題をしているのか丁寧に説明してほしい 滑川町 次回説明する 今回の問題は繰入金が多く貰っておりこれがなくなると経営が厳しいため、使用料改定を検討したい 改めて説明する 檀原委員 不明水処理費の基準内繰入金について定めて欲しい 滑川町 次回算出式を説明する	